

令和6年度 看護職員の採用状況等に関する調査【結果】

調査概要

調査目的： 県内病院における看護職員の採用状況等について、より実態に即した状況を把握する。

調査内容： 令和6年度看護職員の採用状況等に関する調査

調査対象： 県内全ての病院（339病院）

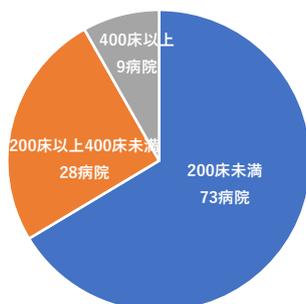
調査期間： 令和7年5月8日～令和7年5月21日

調査対象病院数	回答病院数	回答率
339施設	110施設	32.4%

病床数別内訳

200床未満	200床以上400床未満	400床以上	合計
73施設	28施設	9施設	110施設
66.4%	25.5%	8.2%	

回答病院内訳



二次医療圏別の回答率

医療圏	圏域内市町村	病院数	回答数	回答率
南部	川口市・蕨市・戸田市	31	8	25.8%
南西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市・三芳町	30	10	33.3%
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏市	49	15	30.6%
さいたま	さいたま市	39	15	38.5%
県央	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町	18	5	27.8%
川越比企	川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町・ときがわ町・東秩父村	48	13	27.1%
西部	所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市	52	20	38.5%
利根	行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町	31	11	35.5%
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町	34	11	32.4%
秩父	秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町	7	2	28.6%
県全体(合計)		339	110	32.4%

<参考 調査結果の見方>

- 回答比率(%)は、少数点以下四捨五入したため、個々の比率の合計は100%にならないことがあります。
- 設問により、回答数の合計と回答病院数が異なる場合があります。
- 複数回答の質問については回答数の合計が回答病院数を超えることがあります。

1 令和6年度に採用を予定していた募集及び採用状況

1-1 募集数及び採用実績数

- 看護職員の採用募集数が定まっている病院において、予定通り採用することができたのは64施設/99施設であった。
- 病床規模が大きくなるほど、予定通り採用できなかった病院の割合が高くなっている。

【看護職員】

	採用募集数	採用実績数				
		県内新卒者	県外新卒者	県内既卒者	県外既卒者	合計
看護職員	1,716	464	197	694	206	1,561

※採用募集数が定まっていない病院の採用実績数を合算すると、採用実績数は1,758人

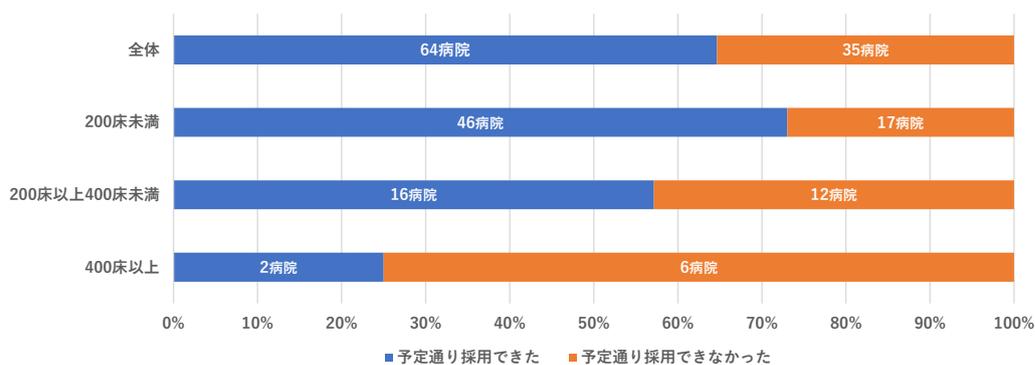
【看護補助者】

	採用募集数	採用実績数				
		県内新卒者	県外新卒者	県内既卒者	県外既卒者	合計
看護職員	652	70	16	389	97	572

※採用募集数が定まっていない病院の採用実績数を合算すると、採用実績数は625人

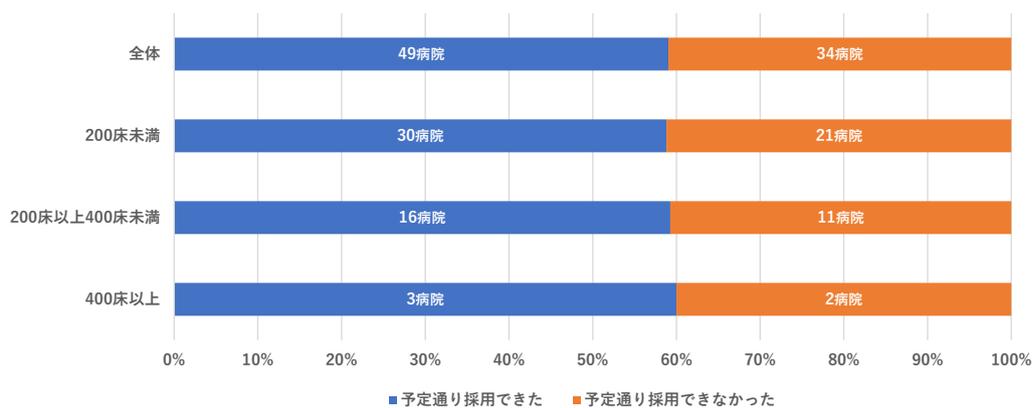
看護職員の採用状況

※採用募集数が定まっている
病院数：99病院



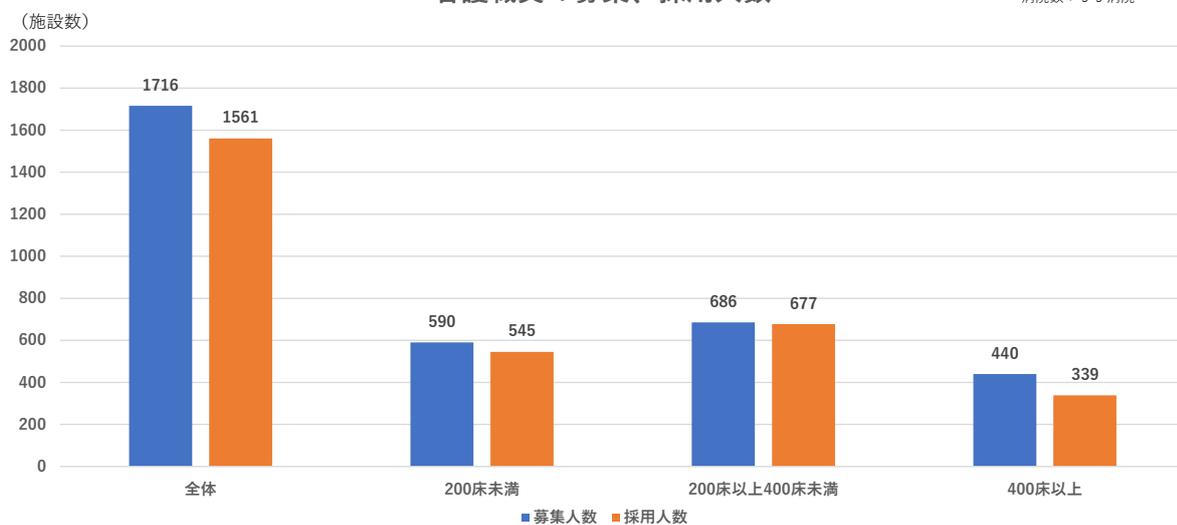
看護補助者の採用状況

※採用募集数が定まっている
病院数：83病院



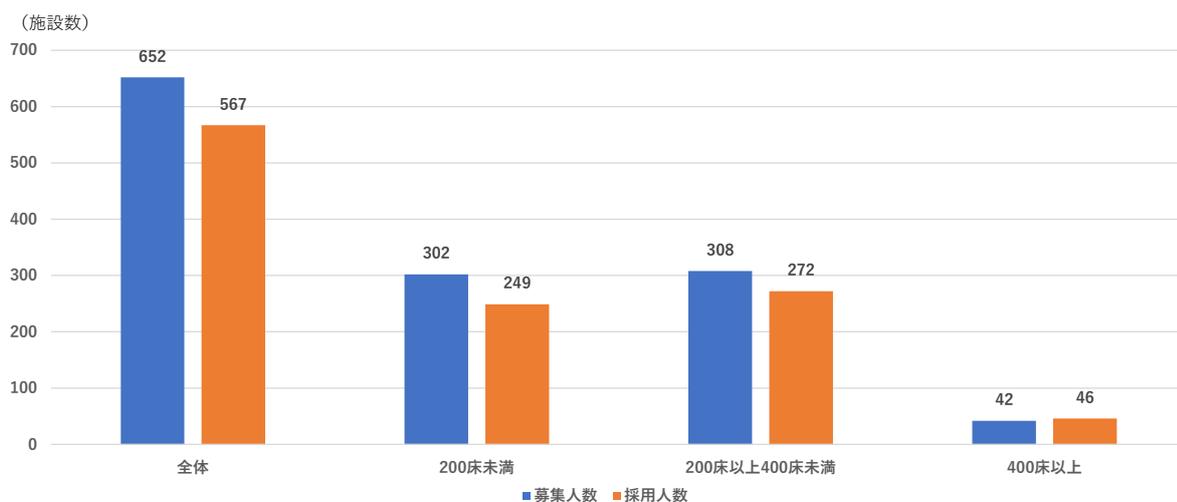
看護職員の募集、採用人数

※採用募集数が定まっている
病院数：99病院



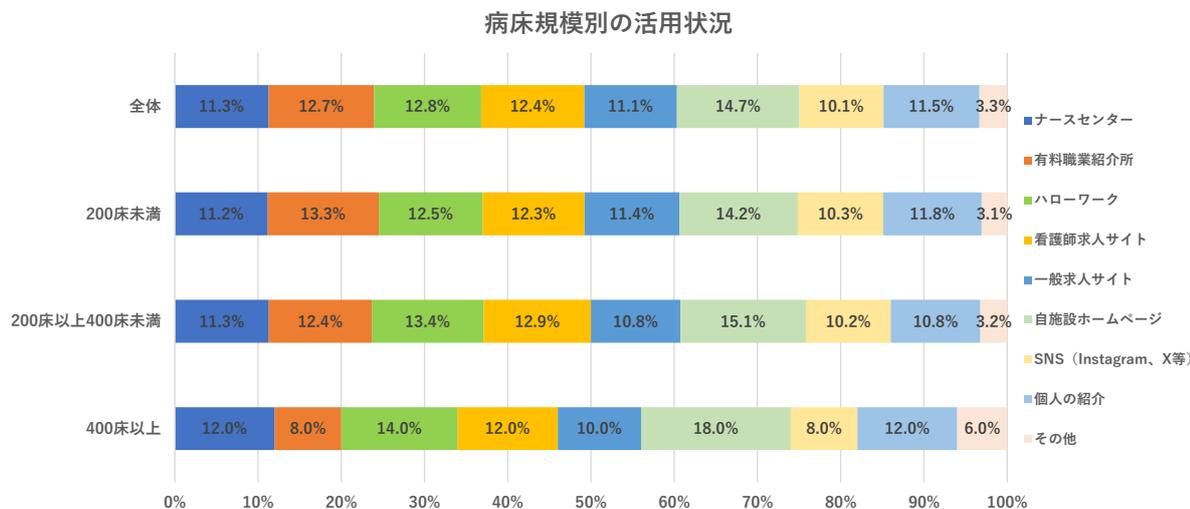
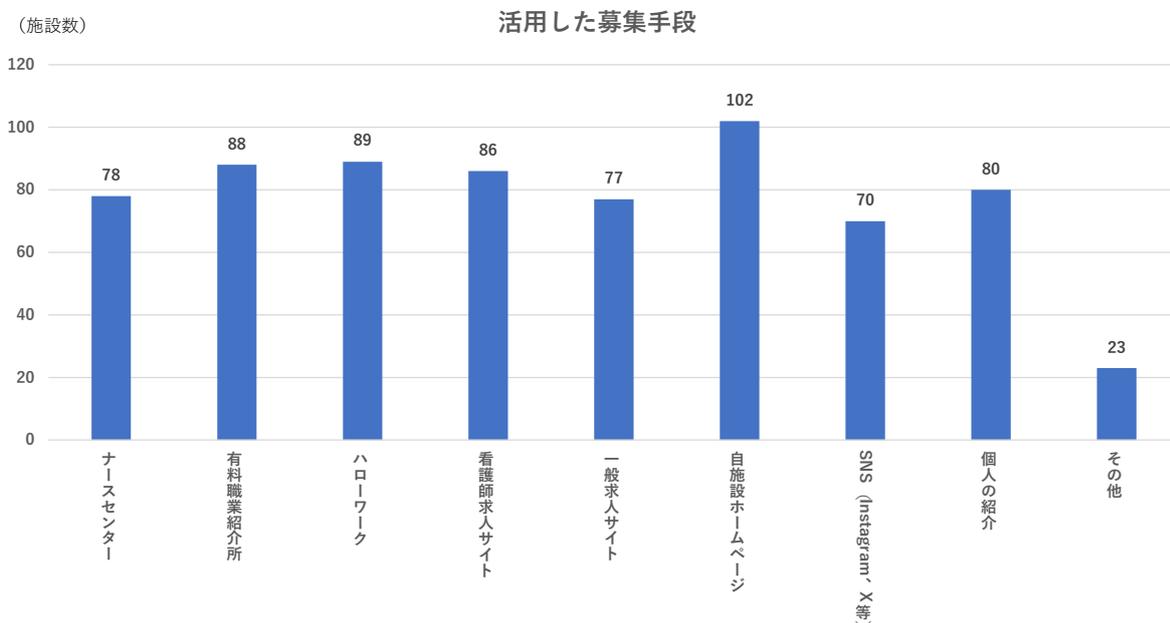
看護補助者の募集、採用人数

※採用募集数が定まっている
病院数：83病院



1-2 看護職員の採用における募集手段の活用状況について

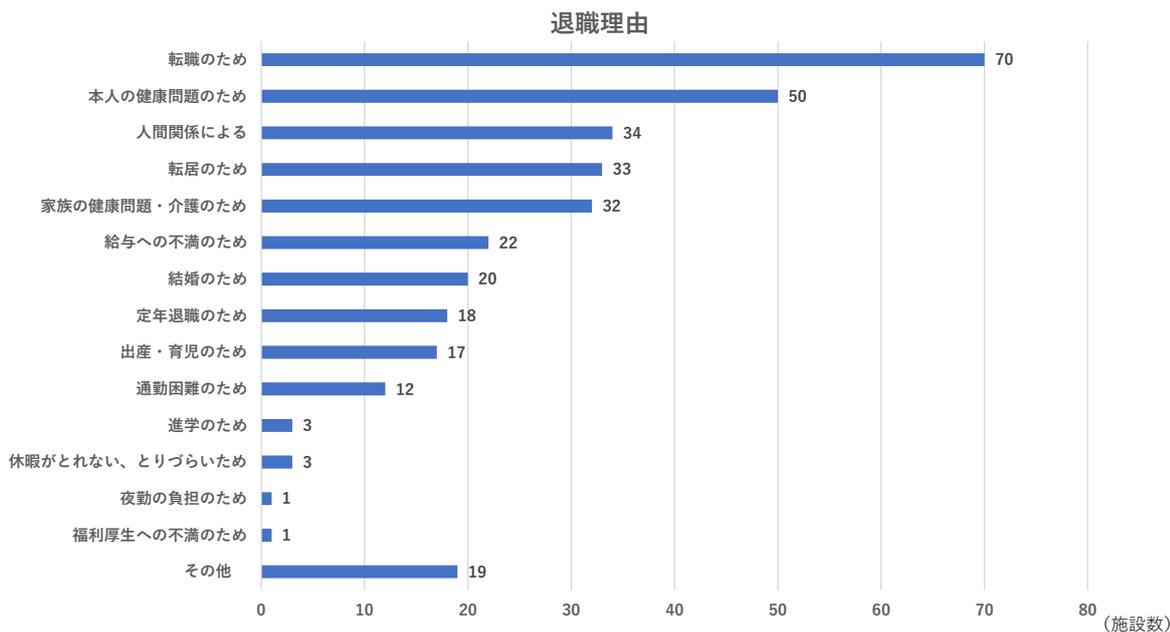
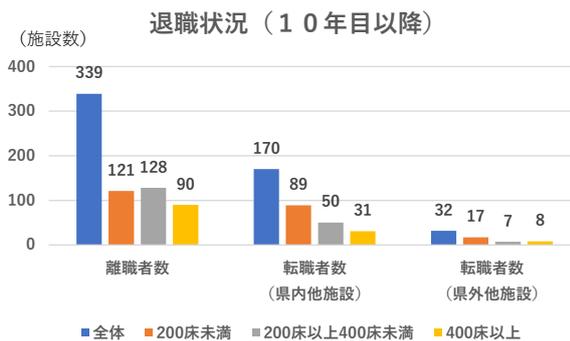
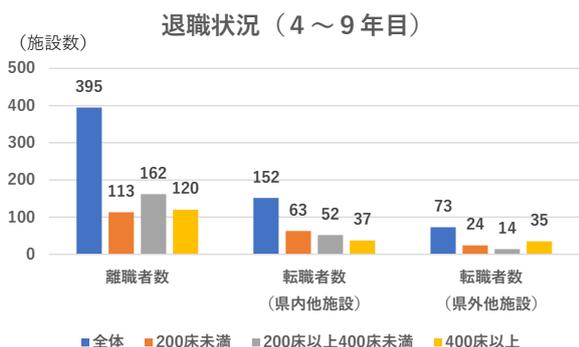
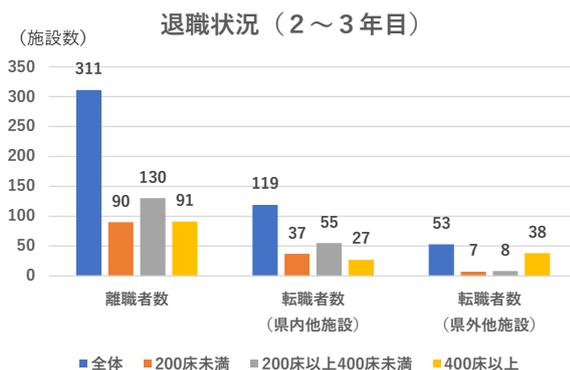
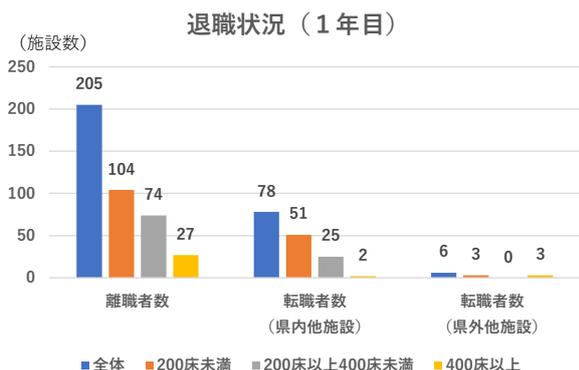
- 看護職員の採用の際の募集手段としては、「自施設ホームページ」、「ハローワーク」、「有料職業紹介所」が多く活用されていた。



2 令和6年度の退職状況等について

2-1 令和6年度の退職状況とその理由について

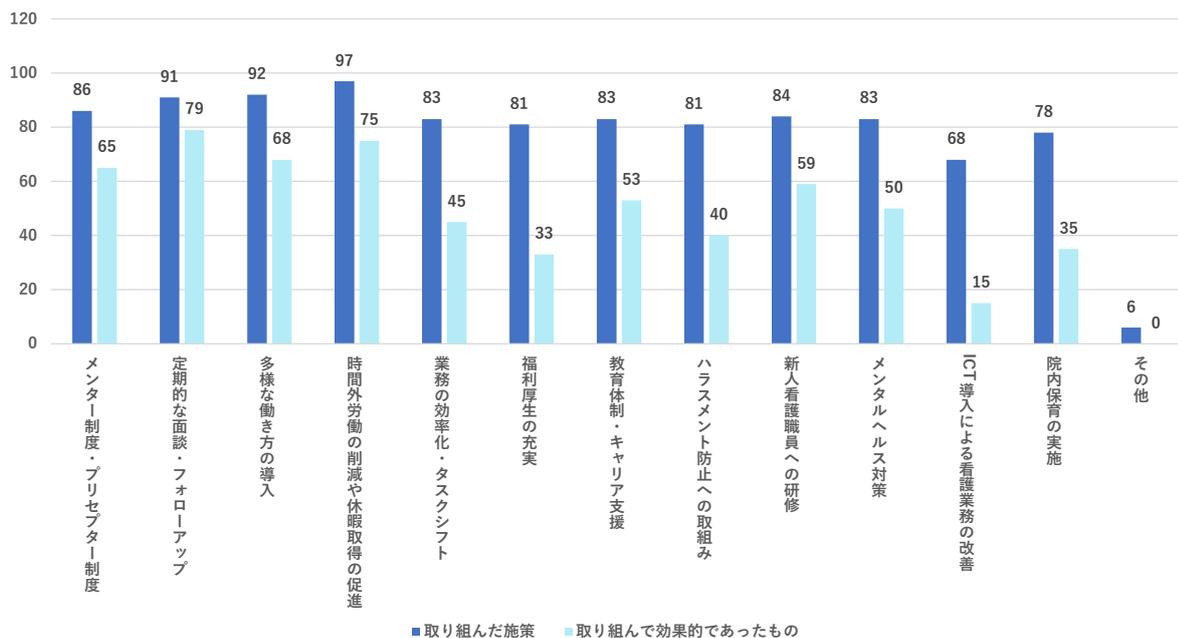
- 離職者について、「1年目」では200床未満の病院が最も多いが、「2～3年目」以降になると、200床以上400床未満の病院が最も多くなっている。
- 病院全体の退職理由については、「転職のため」が最も多く、次いで、「自身の健康問題のため」が多くなっている。



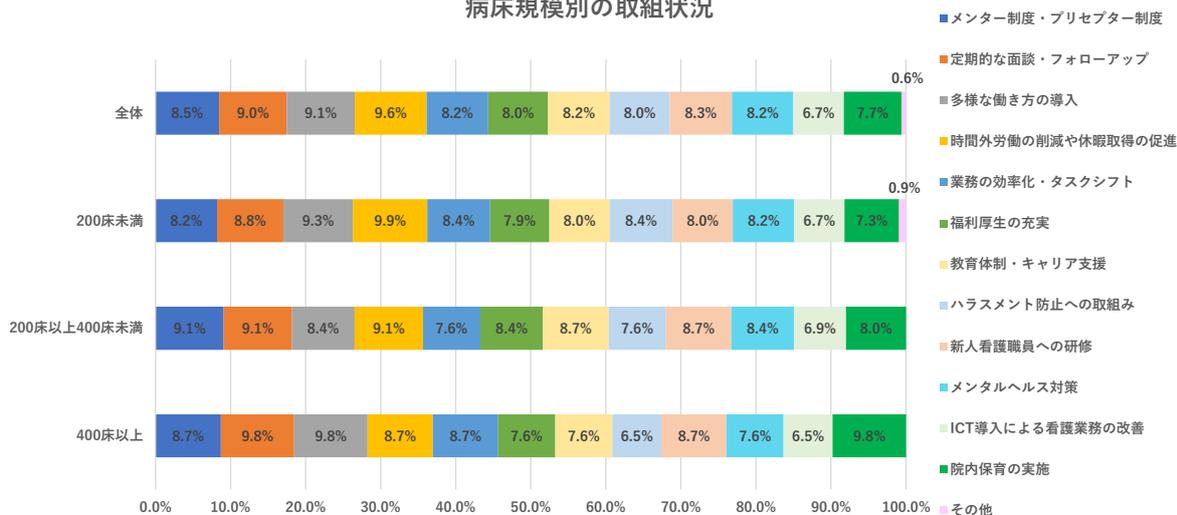
2-2 看護職員の退職防止として取り組んでいる施策とその効果について

- 看護職員の退職防止として取り組んでいる施策は、「時間外労働の削減や休暇取得の促進」、「多様な働き方の導入」、「定期的な面談・フォローアップ」が多い。
- 取組として、効果的であったという回答が最も多いのは「定期的な面談・フォローアップ」であった。

看護職員の退職防止として取り組んだ施策



病床規模別の取組状況

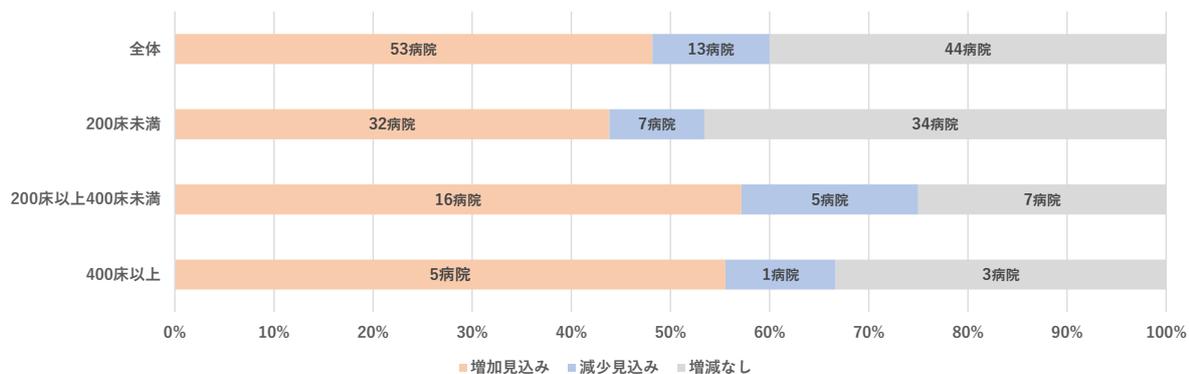


3 今後の配置計画について

- 400床以上、200床以上400床未満の病院では、半数以上が「増加見込み」となっている。
- 200床未満の病院では、「増減なし」との回答が最も多くなっている。

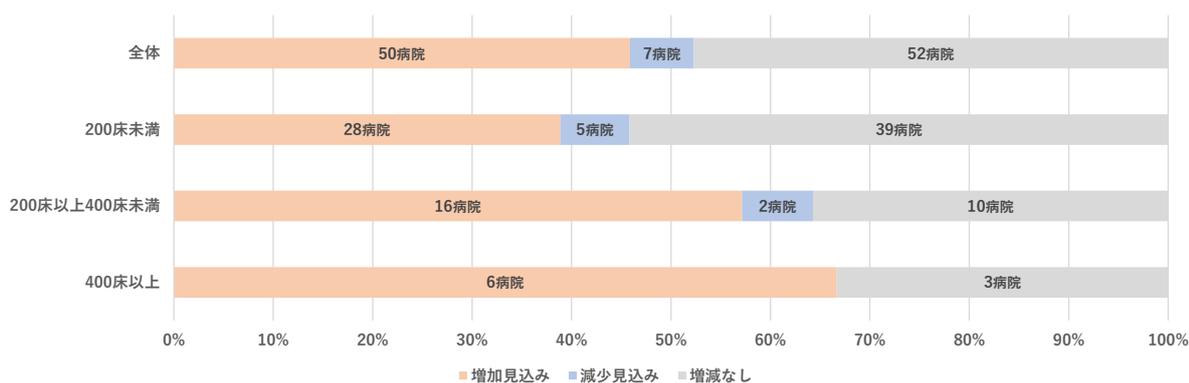
看護職員の配置計画

※回答病院数：109



看護補助者の配置計画

※回答病院数：109



(参考)配置増減の理由について

	増員理由	減員理由
看護職員	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科の増設や移転等による増床のため ・退職や休職等の配置不足への対応のため ・業務改善、業務負担の軽減のため 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人しても入職につながらないため ・新入職者数よりも退職者が多いため
看護補助者	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科の増設や移転等による増床のため ・業務改善、業務負担の軽減のため ・施設基準や診療報酬加算取得の要件を満たすため 	<ul style="list-style-type: none"> ・退職者が出る一方で、入職希望がなく、補充できないため

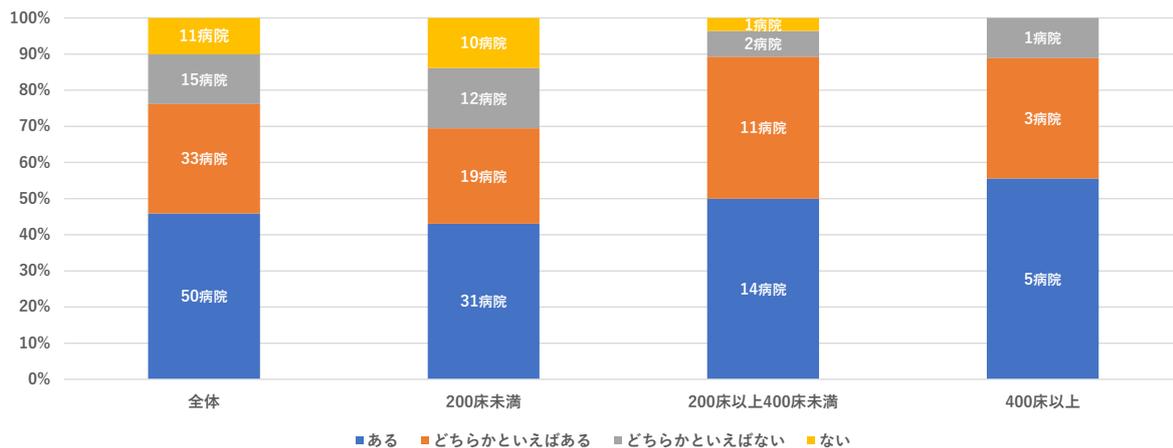
4 職員の不足や不足感について

- 回答施設全体では76.1%が不足感を感じている。（「ある」、「どちらかといえばある」と回答）
- 病床規模別にみると、病床規模が大きくなるほど、不足感を感じている。
- 看護職員の採用状況別にみると、予定通り採用できた病院でも60%以上が不足感を感じている。

【看護職員】

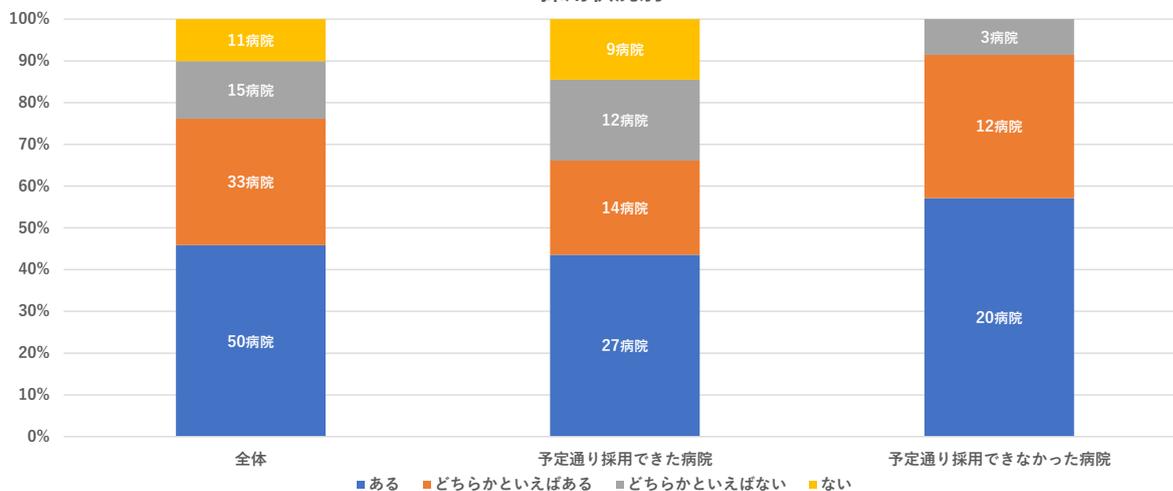
病床規模別

※回答病院数：109



採用状況別

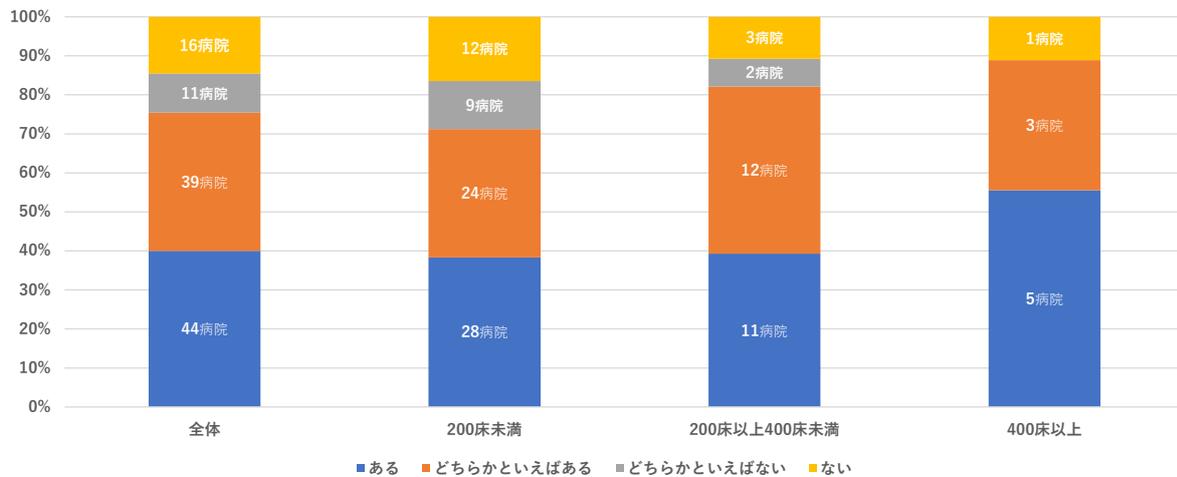
※回答病院数：109



【看護補助者】

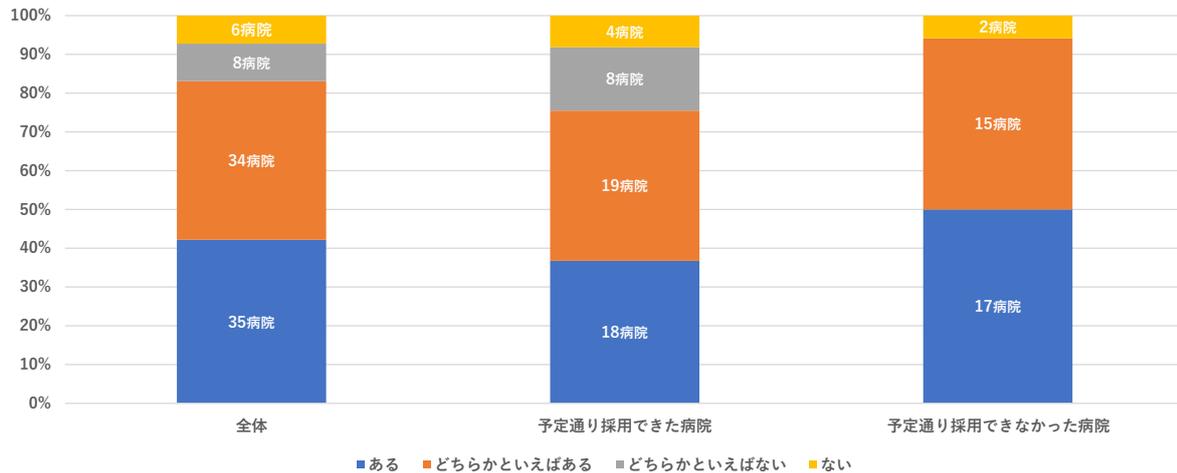
病床規模別

※回答病院数：110



採用状況別

※回答病院数：110



(参考)不足感の理由について

【看護職員】

～予定通り採用できなかった病院～ ※赤枠：意見が最も多かったカテゴリー

カテゴリー	理由（一部抜粋）
【人員不足・採用難】	・看護師の応募がない ・退職者に対し採用者が少ない
【育児・休暇】	・産休・育児休暇取得、育児短時間勤務者が1割以上で夜勤実施者が不足 ・多様な働き方の導入により休みは取りやすくなったが人手不足は改善されない
【夜勤・シフト】	・夜勤平均時間が厳しい状況 ・夜勤可能な看護師の不足で病棟が休床継続 ・夜間勤務職員が少ない ・夜間の配置加算12：1が取得できていない
【業務量・負担増】	・入院患者の超高齢化、認知症対応、退院調整、業務量増加 ・業務量に対しての人員数が足りない
【異動・配置変更】	・療養病棟の配置が足りない（安全確保には2倍近く必要） ・適正要員で配置しているが職員の能力差で作業効率が悪い
【定着・離職】	・新入職員が定着せず離職してしまう

～予定通り採用できた病院～ ※赤枠：意見が最も多かったカテゴリー

カテゴリー	理由（一部抜粋）
【人員不足・採用難】	・応募が少ない、離職率が高い ・応募者が減少している
【育児・休暇】	・若い看護師が多く、産休・育休・病休が多い ・病気休業や育児休業などで出勤できない職員が多い
【夜勤・シフト】	・夜勤を希望する職員が減少 ・夜勤のシフトが組めない
【業務量・負担増】	・高齢患者・認知症患者の増加、業務量の増加 ・業務量が多く、入院基本料の人数では足りない ・救急車受け入れ対応、緊急入院患者対応などで不足感
【配置基準・制度】	・診療報酬上の仕組みで配置数が減少するが、患者の要望は減らない ・施設基準と業務量増加に乖離がある
【患者状況・病棟特性】	・療養病棟でADL全面介助の患者が多く、認知症対応も必要 ・重症患者の受け入れにより看護度が上がり、配置人数では不足
【教育・人材育成】	・指導できる人材が減少 ・教育に時間を費やせない

【看護補助者】

～予定通り採用できなかった病院～ ※赤枠：意見が最も多かったカテゴリー

カテゴリー	理由（一部抜粋）
【看護師不足】	・看護師が看護補助者の業務を兼任している ・なり手が非常に少なく、病院より資格をとって施設で勤務する方が非常に多い
【業務量増・ケア度増】	・清潔ケアや検査の移送など補助人数が少ないため、看護師が行っている ・配置人数に余裕がない（同じ入院患者数でも患者一人のケアに時間を要する等）
【採用・応募不足】	・応募者が減少している ・募集を行っていても、満足した増員にはならない
【退職・定着率低下】	・定着率が低い ・看護補助者は、退職者も多い

～予定通り採用できた病院～

※赤枠：意見が最も多かったカテゴリー

カテゴリー	理由（一部抜粋）
【看護師不足】	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の配置定員数が充足していないため ・入院患者の高齢化により身体的ケアが増えており、看護師の負担が多くなっている
【業務量増・ケア度増】	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者の増加により介護の手が必要、転倒転落予防などに人員不足 ・看護補助者の高齢化と早番や遅番といった食事時の変則勤務帯に働ける人がいない ・高齢者の入院が増加しており、ケア度が上がっている
【採用・応募不足】	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等への転職者が多い（給与面） ・夜勤ができる人の採用がうまくいかない
【退職・定着率低下】	<ul style="list-style-type: none"> ・健康面でも継続が心配な職員も多い ・退職者に対する欠員補充ができていないため

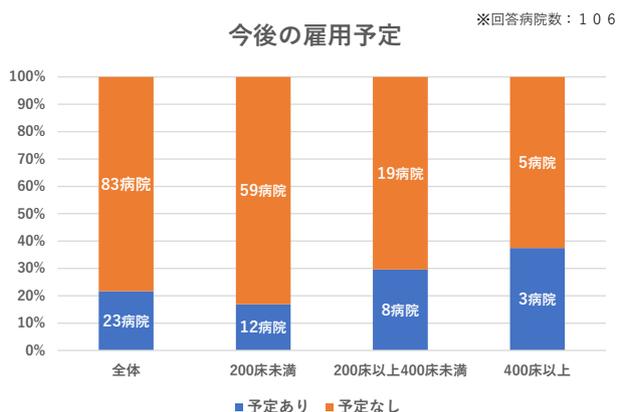
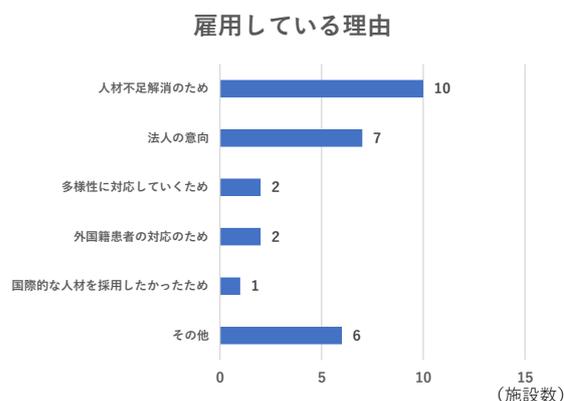
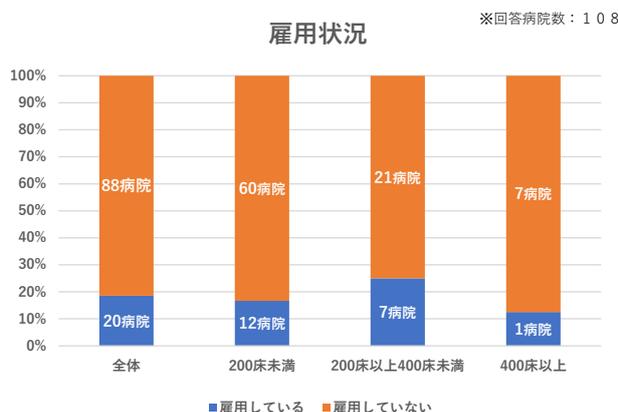
（参考）不足感への対応として有効だった取り組みについて

	看護職員	看護補助者
有効だった取組	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務形態、雇用形態の見直し ・派遣、紹介会社の活用 ・採用活動の強化 ・応援、リリーフ（他部署、病棟間支援） ・業務見直し、タスクシフト、DX導入 ・シフト、配置最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務形態、雇用形態の見直し ・応援、リリーフ（他部署、病棟間支援） ・派遣、紹介会社の活用 ・外国人採用（技能実習、特定技能等） ・採用活動の強化 ・業務見直し、タスクシフト、DX導入 ・シフト、配置最適化

5 外国人職員の雇用について

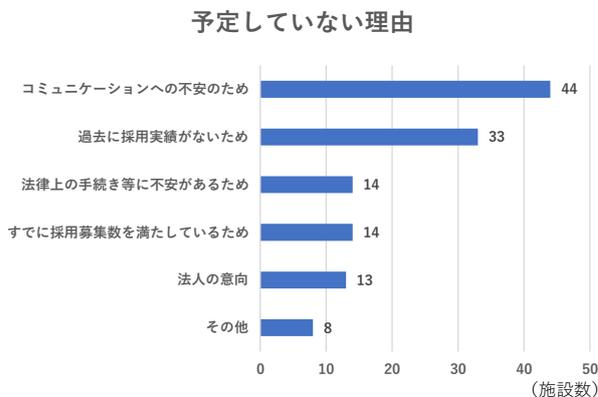
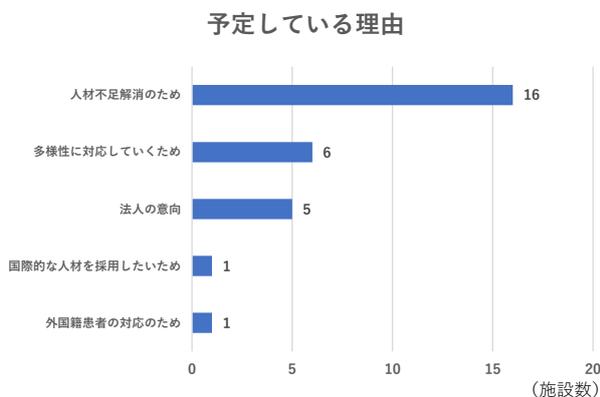
5-1 外国人看護職員の雇用について

- 外国人看護職員を雇用している割合は、200床以上400床未満の病院が最も高い。
- 病床規模が大きくなるにつれ、今後雇用を予定している割合が高くなっている。
- 雇用している理由、今後雇用を予定している理由ともに、「人材不足解消のため」が最も多い。



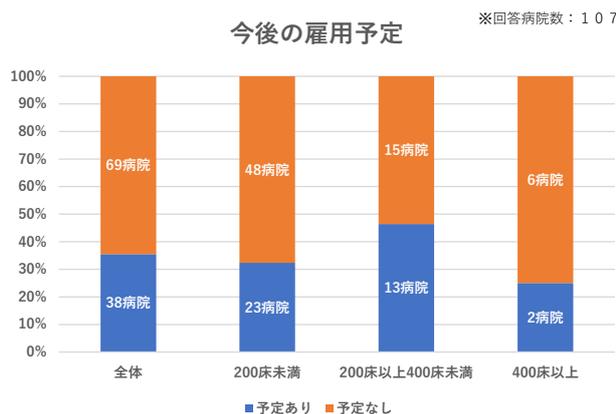
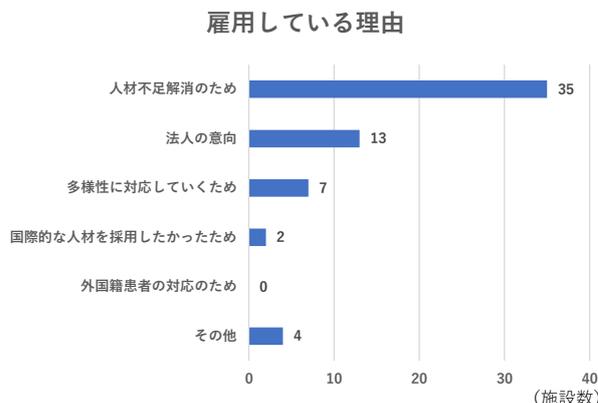
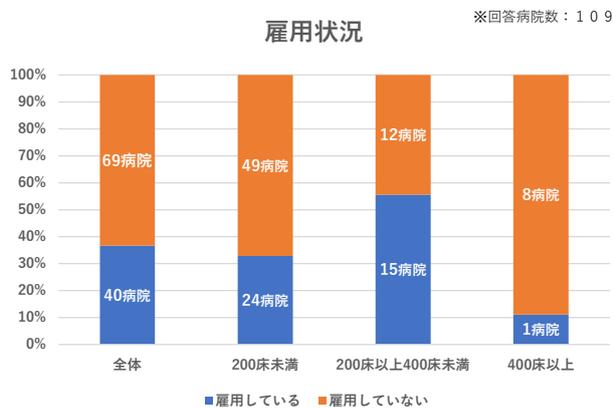
※雇用している職員の国籍及び人数

国籍	人数
中国	27人
ベトナム	8人
韓国	4人
インド	1人
インドネシア	1人
モンゴル	1人
ペルー	1人



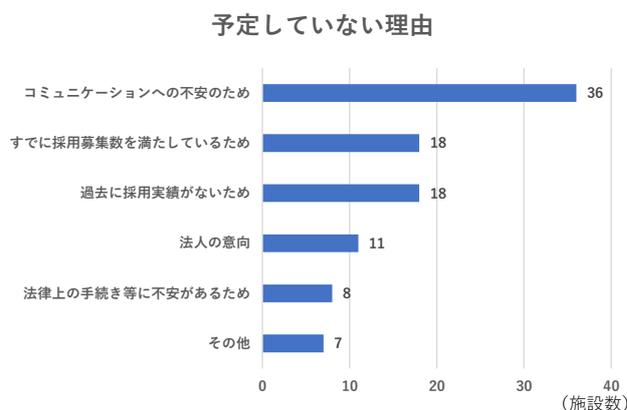
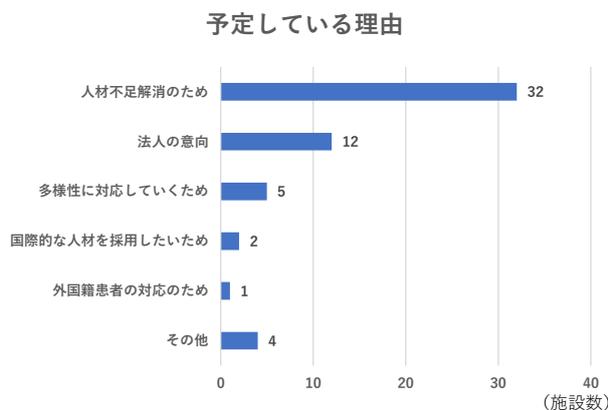
5-2 外国人看護補助者の雇用について

- 外国人看護補助者を雇用している割合は、200床以上400床未満の病院が最も高い。
- 今後、雇用を予定している割合についても、200床以上400床未満の病院が最も高い。
- 雇用している理由、今後雇用を予定している理由ともに、「人材不足解消のため」が最も多い。



※雇用している職員の国籍及び人数

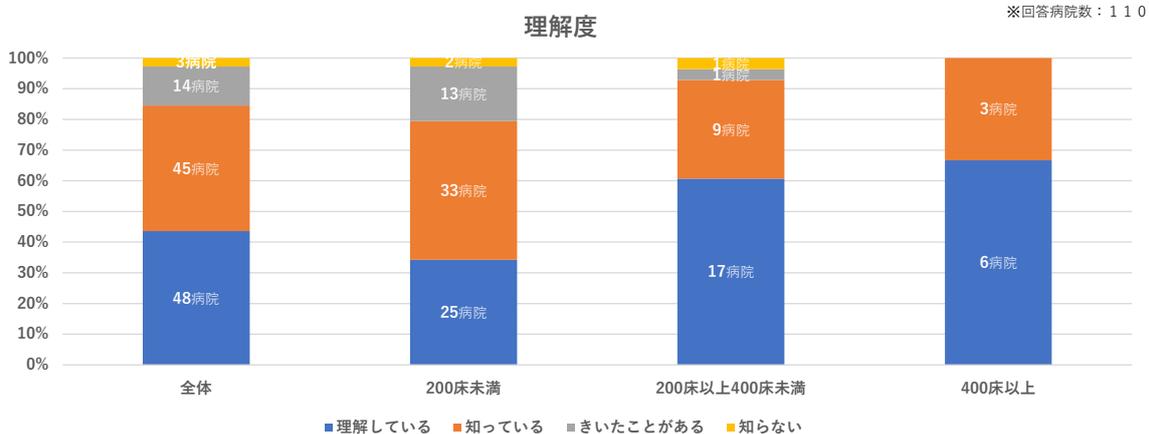
国籍	人数
ベトナム	63人
フィリピン	43人
ミャンマー	42人
インドネシア	34人
タイ	34人
中国	6人
ネパール	4人
モンゴル	3人
韓国	2人
ウガンダ	1人



6 看護師の特定行為研修修了者の育成について

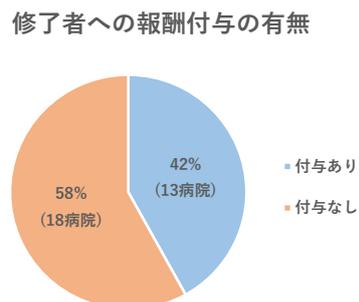
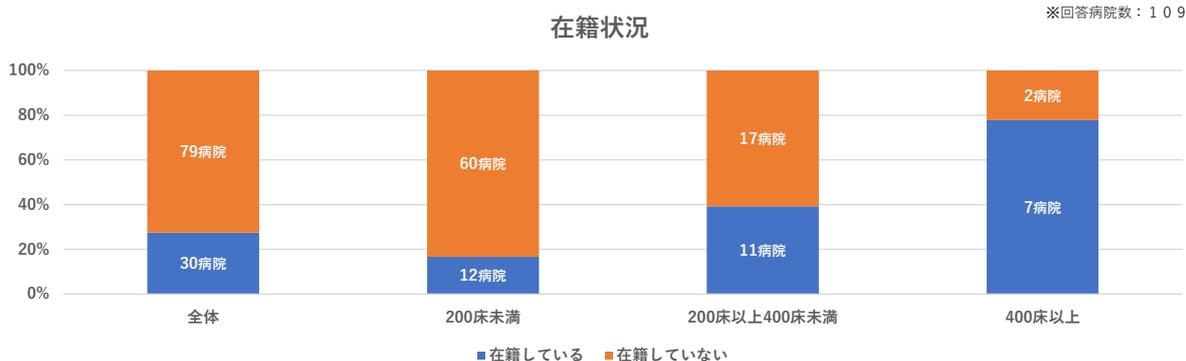
6-1 特定行為研修の理解度について

- 「理解している」と回答した病院は、全体では、50%を下回っている。
- 病床別にみると、「理解している」と回答した割合が最も低かったのは、200床未満の病院であった。



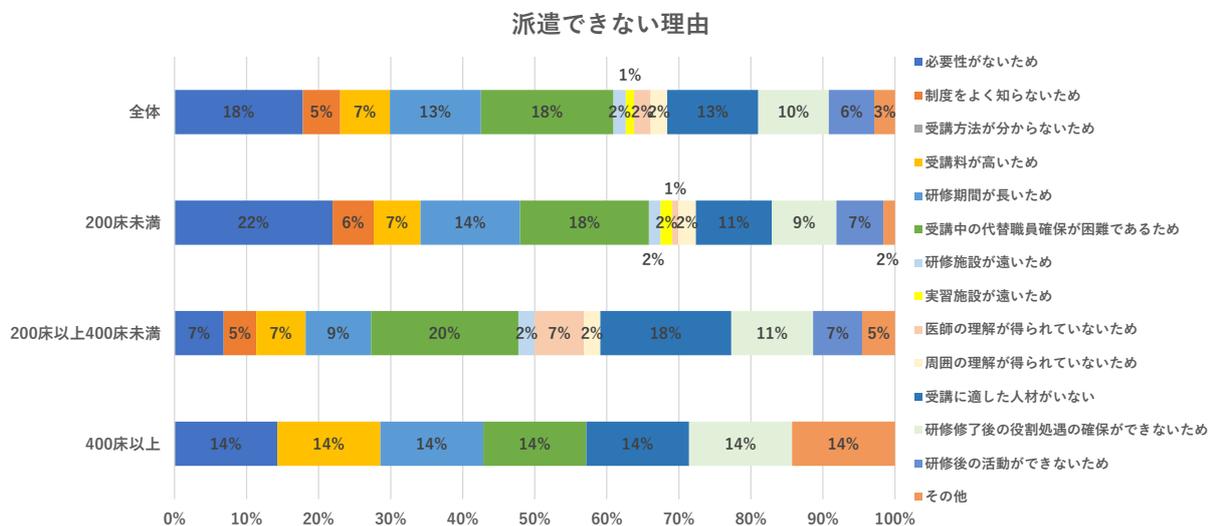
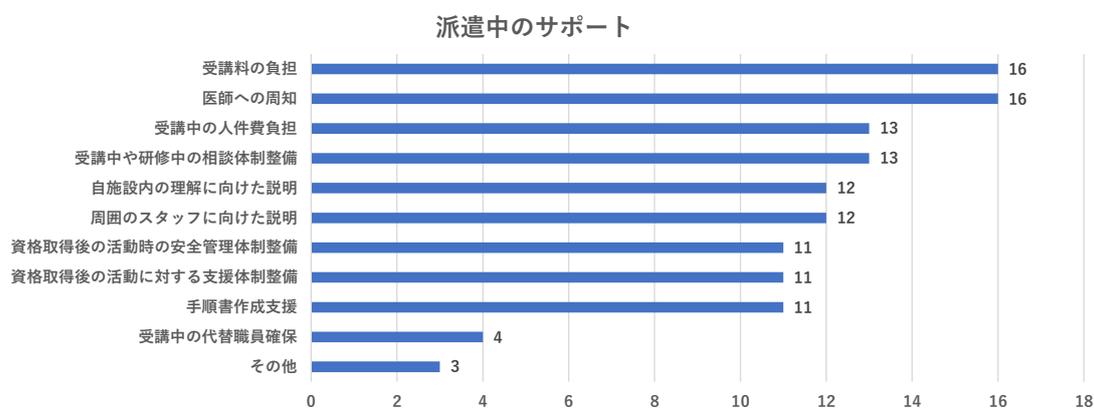
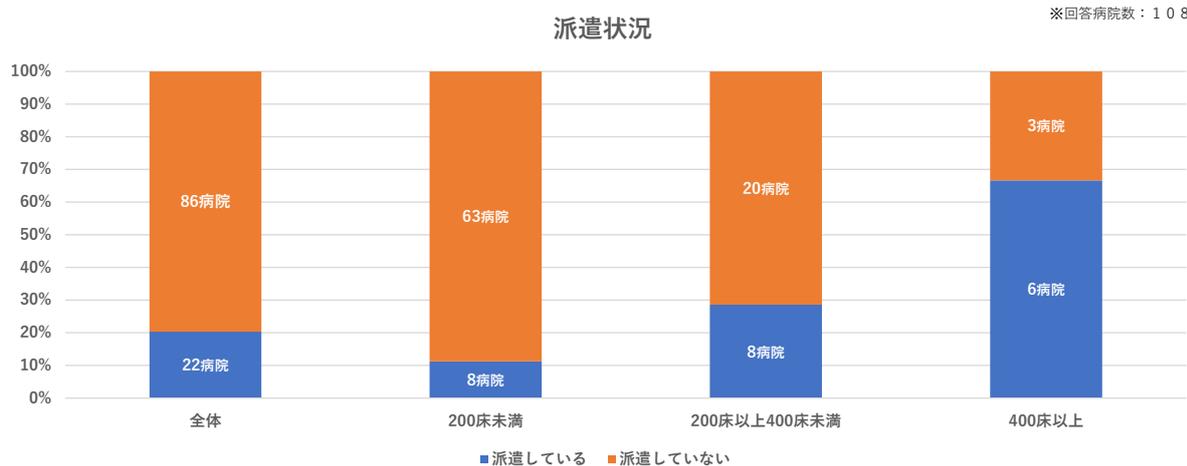
6-2 特定行為研修修了者の在籍状況と課題について

- 特定行為研修修了者は病床規模が大きくなるほど、在籍している病院の割合が高くなっている。
- 在籍している病院における課題については、「修了者が少なく、活動が限定的である」が最も多い。



6-3 特定行為研修への職員派遣状況とサポートについて

- 特定行為研修への職員派遣は病床規模が大きくなるほど、派遣している病院の割合が高くなっている。
- 派遣中のサポートについては、「受講料の負担」、「医師への周知」が最も多い。
- 派遣できない理由については、「必要性がない」、「受講中の代替職員確保が困難であるため」が多い。



派遣予定の有無

※回答病院数：105

